

戦評用紙

第 試合 Aコート

東京都ミニバスケットボール連盟 広報委員会

第39回東京都ミニバスケットボール優勝大会		開催日 平成28年9月19日 (月)	会場 白糸台体育館
男子 ・ 女子	対戦名	深川MBC	VS リトルスターズ

1 Q ティップオフはリトルスターズのボールとなり、④がドライブで持ち込んで最後は自らバスカン、ボーナス・ショットも決めて先行する。オールコート・マンツーマンでプレッシャーをかけるリトルスターズに対し、深川はドライブからの合わせで攻めるが失敗、逆にリトルスターズ④にリバウンド・ショットを許してしまう。しかし、深川はここから粘りを見せ、ミドルショットが失敗してもリバウンドやルーズボールを拾って攻め続ける。特に⑩のドライブからの合わせで再三シュートに持ち込む。その間リトルスターズは、アイソレーションで攻めるが、準々決勝で負った怪我で本調子ではないのか、ドライブからのショットやリバウンド・ショットが全く決まらず得点が停滞する。深川は得意の速攻で⑧から⑩につないで得点、続いて⑩からリング下の⑭につないだり、⑩が自らドライブで持ち込んだりして連続得点。最後はリトルスターズ④がなんとかドライブからショットをねじ込み、結局8対7と深川が1点先行して終了。

2 Q お互いにディフェンス・プレッシャーを強める中、最初のリトルスターズの攻めはターンオーバーに終わった。一方で、深川は球際の強さを発揮して落ちたショットを拾い続け、最後は⑨がドライブで得点。リトルスターズ⑥がリバウンド・ショットで返すが、深川⑨が再びリング下で得点、更にこぼれ玉を拾った⑱が加点して14対9に。リトルスターズは⑥・⑤で攻めを作ろうとするが、かえって深川ディフェンスに的を絞られてしまいミスが増え、守っては弱い部分を深川のドライブからの合わせで突かれてしまう。深川が⑪のフリースロー1本、⑬のフリースロー2本、⑩の速攻と加点する間に、リトルスターズは⑥のリバウンドとスティールからの計4得点に留まり、結局19対13と点差が広がって前半が終了。

3 Q リトルスターズはサイズ上の優位と個の力を活かすべく、④と⑤のツーメンゲームを中心に攻める。一方で、深川は全員バスケでスペースを広く使い、機動力を活かす作戦を維持する。後半最初の得点は深川⑨のフリースロー1本、更に⑤のジャンプ・ショットで連続得点したのに対し、リトルスターズは⑤が、リバウンド・ショットで追う。深川は⑥がカッティングから加点した後はミスが続いて攻めが停滞、逆にリトルスターズはエンド・フォーメーションから⑤がバスカン、続いて④が強気のドライブで得たフリースローを2本とも決めて5点差、そこから入れ合いとなったが、深川⑤が速攻、⑥がドライブでそれぞれ得点する間に、リトルスターズは④のタップ・ショット、④からリング下の⑤への合わせ、④のドライブとたたみかけ、28対25と3点差まで追いついた。

4 Q 深川⑤のポストでの得点でスタート、リトルスターズはショットミスが減らず、深川が速攻で⑨が追加得点。リトルスターズ④がドライブで返したものの、ディフェンス・プレッシャーをかいくぐって深川④が技ありのドライブを決め、更に⑥がカッティングから加点して、9点差まで広がる。リトルスターズはたまたまタイムアウト、直後に④がリバウンドショットをねじ込むが、深川は⑨がリング下ショットで得たフリースローを2本とも決め、点差は縮まらない。それでも、リトルスターズはサイズのある2人が前線からディフェンス・プレッシャーをかける作戦が奏功、⑤のフリースロー2本、④のドライブからのターン・ショットで5点差まで追いついたが、そこで試合終了となった。対照的なスタイルながら、お互いの武器を存分にぶつけ合った好ゲームであった。

チーム名 得点

得点 チーム名

深川

38

8	—	7
11	—	6
9	—	12
10	—	8
延長		

33

リトルスターズ

記入者名

堀野正人

所属

東京都ミニ連広報委員会

戦評用紙

第 試合

東京都ミニバスケットボール連盟 広報委員会

第39回東京都ミニバスケットボール優勝大会		開催日 平成28年9月19日 (月)	会場 郷土の森総合体育館	
男子 ・ 女子	対戦名	多摩フェアリーズ	VS	桃五小

1 Q

立ち上がり、両チームシュートが決まらずこう着状態が続く。

多摩の速攻から⑪のレイアップで得点が動き始め、多摩の連続ポイントにより6-0となった所で青はたまたまらずタイムアウトを取る。

タイムアウト後も多摩④、⑤がオフェンスリバウンドから得点を重ねる。

桃五小はポストから攻撃を組み立てようとするも、中々うまくいかず第1 Qが終了。

2 Q

お互いにスピードを生かした攻撃で展開する。

多摩がリードする中、桃五小⑨のジャンプシュートから青④のフリースロー2本決めて流れをつかむ。

対する多摩は、1対1のディフェンスから速攻で点差をさらに広げ前半を終える。

3 Q

スタートから多摩はボールを動かし相手ディフェンスを翻弄する。桃五小は何とか打開しようとするが、多摩のディフェンスに阻まれてしまう。多摩は終始早いパスワークからシュートを放ちオフェンスリバウンドも取るため、多摩優勢な展開で第3 Qを終了する。

4 Q

桃五小⑧のシュートが決まりようやく反撃開始。桃五小がディフェンスを頑張り失点を抑えるが、徐々に多摩がターンオーバーから得点を重ねる。桃五小⑧のドライブインが決まるが多摩の早いパスからフリーの選手を作りそこから得点を重ね快勝。

チーム名	得点		得点	チーム名				
多摩フェアリーズ	65	<div style="font-size: 4em; vertical-align: middle;">{</div>	15	—	2	13	桃五小	記入者名 本田 誠治
			18	—	6			
			14	—	0			
			18	—	5			
			<u>延長</u>					
							所属	東京都ミニ連広報委員会

戦評用紙

第 1 試合 Aコート

東京都ミニバスケットボール連盟 広報委員会

第39回東京都ミニバスケットボール優勝大会	開催日 平成27年9月22日 (木)	会場 江東区有明スポーツセンター
男子 ・ 女子	対戦名 深川ミニバスケットボールクラブ VS	多摩フェアリーズ

1 Q 多摩はエース④を中心に、深川は小柄ながらパスをつなげるプレーでスタート。まずは多摩④の果敢なドライブインからファールを誘い、確実に2本決めた多摩が先に得点を動かす。深川は⑩ナイスディフェンスからパスカット、ポストプレーから初得点。その後も多摩はエース④を中心に攻撃の手を緩めず、深川はボールをまわしながらインサイドへの併せのプレーで応戦。残り1分で多摩チーム4ファールになるも我慢のディフェンスで1 Q終了

2 Q 多摩は⑦がボール運びからそのままゴールまでの積極的なプレー、ゴール下でボールをもらう合わせのプレーで攻撃を組み立てる。深川は⑨を中心にドライブインで果敢にゴールを狙いながら、アウトサイドのシューターにキックアウトでシュートチャンスをつくる。また、若干のミスマッチを狙ったポストプレーも見せながらクレバーなプレーで応戦。ミスをおそれない多摩⑦は鋭いドリブルワークから、深川のディフェンスヘルプをものともせずゴール下へと飛び込んで得点。2 Q残り2分半で深川がタイムアウト。多摩はディフェンスの当たりを強め、⑩と⑦のドリブルインから得点を重ねる。深川は⑨のドリブルインから外で待つ⑧へのキックアウトからアウトサイドシュートを決めるなどパスワークを披露。多摩は残り3秒でゴール下でマイボール。タイムアウトでセットオフenseを確認したが得点には繋がらなかった。

3 Q 多摩⑧のトップからのロングシュートで始まった3 Qは、多摩のエース④に対して深川は⑨がマッチアップ。多摩④にボールがわたらない様に、深川⑨はタイトなディフェンスを繰り返して相手を苦しめるも、一旦多摩④にボールがわたると多摩のオフenseを組み立てられてしまう。深川オフenseも⑨がベースライン際のカットインでフリースローを獲得して得点するなどして応戦。多摩は強固なディフェンスから深川の30秒オーバータイムを誘い流れをつかんでいく。リバウンドでも頑張る多摩④は見方のショットミスリバウンドしたり、転がるボールを拾うなどして得点し、3 Qは多摩14点に対し深川4点として、多摩が試合の流れを大きくつかんだ。

4 Q 何とか試合の流れを引き戻したい深川は多摩のエースの④に対するディフェンスを⑩で試みる。それでも多摩④はミドルシュートも交えて攻撃の手を緩めない。深川はチームディフェンスで多摩の攻撃を凌ぎ、苦しいシュートを誘うが、多摩はすぐさま立て直す。深川は小柄な⑥がインサイドプレーでシュートファールを誘ったり、深川⑩のインサイドプレーで得点を重ねる。緊張したゲームの中、残り3分程で両チームのオフenseミスが続き、深川④のパスカットからのファストブレイクで深川が得点。多摩⑩のベースラインからのドリブルイン等で多摩がオフenseを立て直す。深川も続いて⑥の合わせのシュート、④のトップからドライブイン等で応戦する。多摩は⑧ミドルシュートや、⑩ロングシュートも決まりだし流れを最後まで渡さない。4 Qは深川11点、多摩12点とほぼ互角だったが、3 Qで大きく流れをつかんだ多摩の快勝となった。

チーム名	得点	}	得点	チーム名	記入者名
深川ミニバスケットボールクラブ	32	}	48	多摩フェアリーズ	五十嵐 啓晋
		}			所属
		}			東京都ミニ連広報委員会

戦評用紙

第 1 試合 Bコート

東京都ミニバスケットボール連盟 広報委員会

第39回東京都ミニバスケットボール優勝大会		開催日 平成28年9月22日 (木)	会場 江東区有明スポーツセンター		
男子	・ 女子	対戦名	リトルスターズ	VS	桃五小

1 Q

開始早々リトル④が先制、すかさず桃五小が⑧のドリブルインで反撃しスタート。その後リトル④のジャンプシュート、ドリブルインで4連続得点10-2。たまたま桃五小がタイムアウト。リトルの勢いは止められず⑩ジャンプシュート、④が連続得点。桃五小もシュートまでいくがゴールに嫌われ得点できず。その後もリトル④を止められずリトル得点を重ねるが残り20秒、桃五小⑥のフリースロー、ゴール下シュートで得点するが18-5リトルリードで終了

2 Q

開始10秒リトル⑤ゴール下シュートで連続得点。桃五小⑤ゴール下シュートで反撃するがリトル勢いが止められずリトル⑤⑥の連携によるインサイドで連続得点。33-7とリトルのリード。桃五小もパスカットからシュートまでいくが得点にならず。残り2分切り、桃五小⑩の連続シュートで得点するがリトルも⑤⑥の高さを生かしたシュートで加点。桃五小⑨が残り10秒でリバウンドからのシュートで得点するが42-13リトルリードで前半終了。

3 Q

開始15秒桃五小④のゴール下シュートで開始。リトルも④⑥の連続ドリブルインで得点。桃五小⑤パスカットからロングパスにて連続得点で反撃し得点差をちじめる。桃五小に流れがきたかと思ったがリトルも⑤ゴール下シュートで加点。互いに得点をし一進一退だったががリトル④⑤の連続得点で差を広げていく。桃五小も⑤フリースローで加点するがリトル④のスピードあるプレーで加点し63-24リトルリードで3Q終了。

4 Q

開始早々桃五小④ジャンプシュートで加点するが、リトルは④の連続ゴールで差を広げにかかる。桃五小も⑦ミドル、ドライブイン連続シュートし得点し、その後もリバウンドからの速攻を決め差を縮めにかかる。リトルも④のスピードあるドリブルからの一対一で加点し79-11リトル勝利で終了。桃五小4Q速攻で善戦するも、リトル④⑤を中心としたスピードが勝った試合であった。

チーム名	得点	}	得点	チーム名		
			18	—	5	
			24	—	8	
リトルスターズ	79		21	—	11	
			16	—	11	
		<u>延長</u>				
				35	桃五小	
					記入者名	
					小島 一俊	
					所属	
					東京ミニ連広報委員会	

戦評用紙

第 3 試合 Aコート

東京都ミニバスケットボール連盟 広報委員会

第39回東京都ミニバスケットボール優勝大会		開催日 平成28年9月22日 (木)	会場 江東区有明スポーツセンター		
男子	・ 女子	対戦名	桃五小	VS	深川

第1Q 決勝リーグ三戦目、二戦二敗の桃五小と、一勝一敗の深川は関東大会の切符を賭けた一戦。深川は、ティップオフ後のボールから速攻が決まり先制点を挙げる。その後も厳しいディフェンスから桃五小にプレッシャーを掛け、序盤は桃五小のパスミスやドリブルエラー等で得たボールを連続で得点につなげて滑り出しは0-12と圧倒する。その後落ち着きを取り戻した桃五小は、⑦を軸にオフェンスを展開。⑦はドリブルシュートや、ゴール下のリバウンドからのシュートで得点を重ね、4-12と盛り返す。その後深川も、⑧のゴール下の頑張りからの得点や、④のカットインからの得点で突き放す。桃五小は、⑦から⑥へ好パスが通りシュートまでいくが、ファールを受けた後の二度のフリースローがリングに嫌われ得点を詰められない。第1Qは、深川の序盤の連続攻撃が実って8-20と深川リードで終了。

第2Q 最初の得点は桃五小④のドリブルシュート。フリースローを得て1本決め9-20と追い掛ける。その後も桃五小は、④を中心に攻撃し、④のゴール下の頑張りからの得点、エンドスローインからのサインプレーが決まって④のシュートとリズムに乗った試合運びをする。深川は、⑩のミドル、⑬のロングシュートで対抗。その後も⑨の積極的な一対一からのシュート、桃五小ファールで得たフリースローを着実に決める。終了間際には、⑩がゴール下シュートを決めて17-33と深川16点のリードで前半終了。桃五小は、数多くチャンスを得たが、パスミスやWドリブルなどでオフェンスが継続せず、逆に深川に切り返えされての得点が痛かった。

第3Q 桃五小は後半に入り、ベストメンバーになってディフェンスに元気が出てきてチームに勢いが出る。⑤のフリースロー、⑦の2面速攻からのシュート、⑤のミドルと連続して得点し盛り返す。深川は、後半戦の滑り出しは桃五小の勢いに押され、オフェンスのボール回しもフォーメーションからの動きもぎこちなく、リズムに乗れず苦戦。しかし④が落ち着きを取り戻してボールコントロール、自らが積極的なカットインからのシュートが決める。攻撃のリズムを取り戻した深川は、⑨⑥の速攻、⑤のミドルシュートなどで、得点を重ねる。桃五小は、終了間際⑤がゴール下シュートを決めて粘りをみせる。

第4Q 21点のリードを得た深川は、攻守に余裕あり。特にディフェンスの足の運びが良くなる。オフェンスでは、⑨のステップインからのシュート、④のスピードを活かしディフェンスを振り切ったシュートと続く。その後も、ディフェンス・リバウンドを奪取した後の素早い切り返しから速攻につなげ⑥がシュートを決めた。桃五小は、深川のディフェンスに一対一を仕掛けるがなかなか振り切れない。⑥が何とかシュートまで持っていくが、最後までリングに嫌われ、得たフリースローもなかなか決める事が出来ない。最後は、深川⑥が見事なジャンプシュートを決めて29-59で深川が勝利、関東大会への切符を手に入れた。深川は試合を通じて厳しいディフェンスで桃五小のオフェンスミスを誘い、ターンオーバーからの得点が明暗を分けた試合となった。

チーム名 得点

桃五小 29

8	—	20
9	—	13
9	—	14
3	—	12
延長		

得点 チーム名

59 深川

記入者名

森一郎

所属

東京都ミニ連広報委員会

戦評用紙

第 3 試合ト

東京都ミニバスケットボール連盟 広報委員会

第39回東京都ミニバスケットボール優勝大会		開催日 平成28年9月22日 (木)	会場 江東区有明スポーツセンター		
男子	女子	対戦名	多摩フェアリーズ	VS	リトルスター

1 Q リトルスターズは、勝てば関東大会出場の可能性がある決勝リーグ 3 戦目。ティップオフからボールはリトルスターズでスタート。お互い④のドライブを起点に攻め始める。共にルーズボールを頑張る展開。先制は多摩⑤ゴール下。さらに多摩④は速いドライブインからのジャンプショットを続けざまに決め、点差が付きかけるが、多摩はリトル④のドライブに立て続けにシュートファールをし、このフリースローを確実に沈められ、さらにリトル⑦のフリースローで1点差となり、④のジャンプショットで逆転更にミドルで11点目。多摩は1Q終了間際、⑤のジャンプショットにリトル④がファール。2本とも沈めたが多摩10-11リトル、1点差で1Q終了。

2 Q リトルボールでスタート。互いにボールに食らいつき、ディフェンスがいい。多摩⑩がカットから速攻を決めれば、リトルは⑥とのコンビプレイから⑤がゴール下を決め、5:00リトル⑤のゴール下に多摩⑦がファールでバスカン。多摩は広く攻めドライブを試みるも得点できず、4:48タイムアウト。多摩⑦⑧にリトル⑤⑥と、上背のある者同士のハイレベルのマッチアップの中、リトルは⑤の連続シュート、多摩は⑦のミドル、⑩の速攻、⑫のミドルと得点が続く。2:09多摩⑧のドライブからのジャンプショットで22-22の同点。多摩はさらにディフェンスの動きが良くなるが、リトルの果敢な攻めにファールがかさむ。リトル⑤のポストショットの後、多摩は速攻を試みるも得点できず、逆にファールでフリースローを与える。しかしリトルはあまり決められない。1:00リトル⑥のフリースローで多摩22-25リトル。残り時間をしっかり確認したリトルはじっくり攻めて3点差を保ってそのまま3点差で前半を終了。

3 Q リトルボールでスタート。体格はほぼ互角。開始早々リトル⑤のゴール下が決まるが、4:18多摩⑦がジャンプショットを決め、3点差に戻す。互いにディフェンスもよく、その後、得点のない展開になる。攻撃に緩急をつけた多摩が3:15⑩のドライブ、⑤がミドルと決めれば、リトル④がミドルで返す。多摩は2:15④がステップインからリトル④のファールをもらい、フリースローを2本沈め逆転。セットオフenseからリバウンドも頑張る多摩は1:50⑤のミドルでリード。1:30多摩④のドライブをリトル⑫がファールで押えたところでリトルT/O。T/O後、1:02リトル④は果敢なドライブインからフリースローを得、2本決め1点差に詰めるが、多摩⑤がブザービーターでミドルを決める。多摩34-31リトルで最終Qへ。

4 Q リトルボールでスタート。互いにディフェンスを頑張り、得点のない時間が続く中、リトルは④のドライブを中心に攻める。多摩はディフェンス、オフense両方のリバウンドを頑張り、攻撃につなげ、4:02⑧のロング、合わせからの⑤のゴール下がリトル⑥のファールを誘いバスカン。ワンスローも決まり3点プレイ。さらに⑩から④への速攻と立て続けに得点、3:18多摩41-31リトル。リトルは④のドライブインで対抗し、ボールを④に集めるが、流れをつかんだ多摩のディフェンスに阻まれ決められない。逆に多摩はドライブからゴール下、中から外、ディフェンスリバウンドからの速攻と多彩な攻撃が決まり点差が開いていき、粘るリトルスターズを47-33で下し、全勝で関東大会出場を決めた。

チーム名	得点		得点	チーム名	記入者名
多摩フェアリーズ	47	{	10	11	平林昭二
			12	14	
			12	6	
			13	2	
			延長		
			33	リトルスターズ	所属
					東京都ミニ連広報委員会